事業創出力養成研修 受講者募集!!

私たちが企画します!!
東北電力人財部・
東北電力NW人財部
事業創出部門
再生可能エネルギー事業部



人財部
（人事計画）
佐々木 愛美 さん

再生可能エネルギー事業部
（事業企画）
大原 智成 副長

事業創出部門
スマート社会実現ユニット
穴澤 聡美 さん

東北電力人財部・東北電力NW人財部・事業創出部門・再生可能エネルギー事業部は，中長期ビジョン実現に向けた新たな取り組みとして，「事業創出力養成研修」を共同で実施します。

新規事業部門へ挑戦したいという意欲あふれる方，さらなるスキルアップを目指す方の積極的なご応募をお待ちしています!

事業創出力養成研修とは？



人財部（人事計画）
阿部 勇紀 副長

東北電力グループ中長期ビジョンを実現するためには，これまでと大きく異なる能力や思考が求められます。この「事業創出力養成研修」は，昨年度まで実施していた「海外ビジネス研修（基礎・発展コース）」の後継研修となっており，英語力をベースとしつつ，「再生可能エネルギー」や「スマート社会実現事業」をテーマに，新たな事業を創り出す力を高めることを目的としています。

中長期ビジョン実現に向けた最初の一歩として，また，皆さんのさらなるレベルアップのきっかけとして，ぜひご応募ください。

講義概要

4日間のカリキュラムで，「プロジェクトファイナンス」「デザイン思考の基礎」「英語を活用した実務ベースでの講義」など新規事業創出に関わる知識・スキルを幅広く学習できます。

今年度はオンライン研修での実施です!



カリキュラム	研修内容
プロジェクトファイナンス	プロジェクトファイナンスの仕組みやプロセス，リスク管理手法などについて当社事例も踏まえながら学習する他，簡易なキャッシュフローモデル演習に取り組むことで，実践的な知識・スキルも習得できます。 講師はプロジェクトファイナンスに関して経験豊富な社員を予定しています。
デザイン思考	デザイン思考とは，「モノ」ではなく「人・ユーザー」に着目した創造・革新を実現するための思考体系です。 本研修では，外部講師を招き，少人数チームでの演習を繰り返します。 考えるトレーニングを通じて，新たな価値を創造するために必要となる，相手に対する「共感力」と，思考の「テクニック」について学んでいきます。
英文契約書	英文契約書の実務に携わっている弁護士を講師として招きます。 英文契約の基本的な条項，法律英語特有の表現等について学習する他，グループ演習に取り組むなど，より実用的・実践的な知識の習得につなげます。



＜外国人講師とのディスカッションの様子（2019年度）＞

募集要項

実施日程	2020年11月24日（火）～27日（金）
応募要件	1. 2020年4月1日現在，入社満2年以上であること（2018年4月1日以前の入社） 2. 一般職，専門指導職，一般管理職であること（特別管理職は除く） 3. TOEIC600点以上（CCM2ランク以上）と同程度の語学力を有していること
募集人数	10人程度
募集期間	2020年9月14日（月）～10月5日（月）
実施場所	オンライン研修　※各所属事業所にてWEBミーティングにより受講
応募方法	応募についての詳細は，H.A.N.D.S.の「お知らせ」または，教育関係ポータルサイトをご確認ください

積極的な応募をお待ちしています!

【応募に関する問い合わせ先】　東北電力 人財部（人事計画）　佐々木 愛美 Tel.910-2638

この印刷物は，環境にやさしい「水なし印刷」「植物油インキ」を使用しています。

BRIDGE 2020.9 Vol.721

発行所／東北電力株式会社ソーシャルコミュニケーション部門　発行人／小野 誠彦　印刷／今野印刷株式会社　二〇二〇年九月二十日発行

BRIDGE 9



東北電力・東北電力ネットワーク 社誌［ブリッジ］　September 2020 Vol.721

CONTENTS

01 【特集Ⅰ】坂本社長インタビュー
19 【特集Ⅱ】上越火力発電所建設最前線 煙突・本館建屋 篇

07 「より、そう、ちから。」第5期推進サポーター キックオフミーティング開催
09 Road to 再稼働 宮城県が主催する住民説明会において女川原子力発電所2号機の安全対策を説明
10 Road to 再稼働 宮城県知事，女川町長，石巻市長による女川原子力発電所の視察について
11 東通原子力発電所断層評価に係る審査が一通り終了
13 2020年度新入社員の集いを開催
17 Close Up おでCafe 「東北・新潟☆元気プロジェクト」展開中!
21 法的分離を支えたプロジェクト ネットワークサービス部門の奮闘
23 Close Up 2019年度 公的資格S級取得者および大学・大学院学位取得者の声
25 写真で見る Monthly Flash News
26 退職者の方々
27 事業創出力養成研修受講者募集!!

特集Ⅰ
Feature



坂本社長インタビュー

今年4月1日，送配電事業の分社化に伴い，東北電力・東北電力ネットワークが新体制でスタートしました。両社長のお人柄や思いを社員の皆さんにお伝えするべく，前号の樋口社長に続き，東北電力ネットワーク坂本社長にお話を伺いました。

「道」の先に希望あり，希望を求め「道は開ける」
―社長の生い立ち―

最初に，社長の生い立ちをお伺いいたします。

秋田県の県南の横手市に生まれ，高校まで暮らしました。『山と川のある町（著:石坂　洋次郎）』の舞台となった城下町で，冬は「かまくら」を作れるほど雪が降る豪雪地域です。父が早くに亡くなったため，母と姉の，3人家族でしたが，隣に祖母や叔母，従兄弟が住んでおり，しょっちゅう行き来していたため，大家族の中で育ててもらったように思っています。

子どもの頃は町内のガキ大将として，ビー玉やメンコで遊び，化石や石器の収集にも熱中しました。また，冬は雪で土俵を作って相撲を取るなど，雪国の田舎の子どもらしい遊びをしていました。当時は，プロレスラーやボクサーに憧れ，毎週金曜日夜の8時ごろからのプロレスの放送に夢中になっていました。

中学・高校では応援団に入り，中学3年生時には応援団長を務め，野球をはじめとしたさまざまな部活の応援に出掛けて行って，応援の指揮を執りました。

また，小さい頃から活字を読むのが好きで，小学生の時は新聞を隅から隅まで読み，図書館に行って本を借りて読んでいました。今でも読書が好きですが，読書を通じて得た知識や経験は私のバックボーンになっています。

高校時代の国語の教科書に，中国人作家である魯迅の「故郷」が載っていて，「もともと地上に道はない。歩く人が多くなれば，それが道になるのだ」という一説がありました。この言葉が心に響き，「道」を心にとどめながら色々な本を読んでいくと，老子の無為自然の道，茶道，剣道や華道といった文化・芸術の道，哲学的な道，物理的な道など，いろいろな道があり，人間が生きていく上で，道は本当に大事なものだと思いました。私の考えとしては，その道の先には，希望があって，人間はその希望を求めていろいろな努力をしていく。自分の意志や努力が大事なのはもちろんですが，関係するさまざまな方の支援，あるいは時の運，タイミングといった自分以外のいろいろな力があって，初めて道というのは開かれると私は解釈しています。だから，「道を開く」ではなく，「道は開ける」，そういう理解をし，私の座右の銘としています。

どのような大学時代を過ごしたのでしょうか。

私が大学に入学した頃は，大学紛争の余韻がまだ残っていた頃で，休講になるケースが大半でした。

私はその間を利用して，生活費のために引っ越し業者，飲食店の店員などいろいろなアルバイトをしましたが，今となってはそれがいい経験になったと思います。アルバイトを通じて，いろいろな仕事があることを実感するとともに，さまざまな会社や店で働いている方，お客さまと接することができ，見聞が広がりました。



大学2年の頃-喫茶店で（右から1番目）

また，東京の大学に進学したことで，身近に大きな本屋さんや，魅力的な古本屋がとても多かったため，大学の行き帰りに古本屋に寄って書棚を眺めたり，なけなしのお金をはたいて買ったりしていました。私にとって古本屋は宝の山で，非常に良い経験をしました。地元には小さな本屋しかなかったですし，もちろん古本屋なんてなかったものですから（笑）。

社会人になってからも珍しい本や気になった本を集めるのが趣味です。読むこともちろんありますが，読まないで積んでおくといった，いわゆる積読の状態です。

ジャンルとしてはノンフィクションや評論，あるいは歴史の本が多いです。家内からは早く本を処分するようにと言われています。何回か引っ越しをした際に，その都度処分はしてきたつもりですが（笑）。

おすすめの本がありましたら教えてください。

おすすめということではないのですが，最近読んだ本で面白かったのは，『人口減少社会のデザイン（著:広井 良典）』，『空白の五マイル（著:角幡 唯介）』ですね。今，俳句がブームということもあり，『奥の細道を読む（著:長谷川 櫂）』も面白かったです。ジャンルにとらわれずに，自分が関心のある本を買っています。買った本は必ず全て自分に返ってくるわけではなく当たりハズレがあります。10冊読んだら，何冊かは自分に合わないというのはありますが，それは必要投資だと思った方がいいですね。必ず残りの6冊か7冊は自分に返ってきます。損得で読書している訳ではないですが，決して損はないと思います。



卒業後の就職先として当社を選んだ理由を教えてください。

私は母が地元にいたので，地元に帰らなければいけないという思いがありました。ある時，親戚に東北電力を勧められ事業内容を調べてみたところ，事務系，技術系問わず幅広い仕事をやっていることが分かりました。地元就職志向だった自分にとって，東北全域・新潟をエリアとして幅広い事業を展開する東北電力に魅力を感じ，志望しました。

自ら仕掛けるコミュニケーション
―若手時代の仕事に対する姿勢―

社長は入社されてから営業，人財，総務といった数多くの職場を経験されたと伺っています。まずは，新入社員当時のことを教えてください。

初任配属は，青森県弘前市にある弘前営業所の営業係でした。最初の仕事は電話番と先輩の補助がメインでしたが，とにかく困ったのは，電話番です。電話が鳴るとすぐに取るのですが，当たり前のことながら皆さん津軽弁でした。私自身，秋田県の横手市出身でズーズー弁ですが，津軽弁は本当に分かりませんでした。新人時代の電話応対では非常に右往左往した記憶があります。



新入社員研修-同期の仲間と（前列右から3番目）

私も初任配属地では言葉が分からずに苦労した覚えがあります（笑）。慣れない土地・言葉にどのようにして馴染んでいったのでしょうか。

いろいろな人に積極的にアプローチすることを心掛けました。所内には事務系の人だけではなく，技術系の人もいましたが，一見仕事上の関係がない人であっても，自分からアプローチすることで，コミュニケーションを図りました。また，お客さま応対においても，尻込みしていると，いつまでたってもお客さまと本当の意味でのコミュニケーションは取れません。こちらからお伺いし，胸襟を開いてお話することによって，より良いコミュニケーションができるようになったと思います。コミュニケーションは双方向のやりとりで成り立ちますが，自分から飛び込むことによって，相手もそれに対して応えてくれる，そういうことが身に染みて分かりました。



初任配属地の弘前営業所時代-職場の旅行で（左から5番目）

若手時代の思い出深い業務について教えてください。

弘前営業所の次は青森支店の支店長室に異動しました。当時，東通原子力発電所建設計画の前身として，下北半島に原子力発電所を建設する構想がありました。

その構想の理解活動，広報活動をするということで，地方紙の新聞広告の原案を作ったり，折り込みチラシの原案を作ったりしたことを覚えています。そこでは，会社の主張や専門用語だけを内容に織り込まないことを強く意識しました。地域にとって，そのプロジェクトがどういう意味を持つのか，どういった効果があるのかといったことも含めて訴求しないと地域の皆さまの理解は得られないと思ったからです。



入社2～3年目-青森支店長室（当時）の会議の場で

当事者意識を持って「やり切る」

―新人事制度導入，法務室設置―

人財部課長時代には，採用を担当された他，社内公募制度を導入されたと伺っています。その際に心掛けていたことや制度導入時の思いを教えてください。

採用と聞くと，会社が採用する側，学生が採用される側と一面的に捉えがちですが，学生一人ひとりの能力，個性，人間性を重視しながら，東北電力の戦力として活躍・成長していただく人材，自分たちと一緒に仕事をする仲間だという観点で接するように心掛けました。

社内公募制度については，会社と社員双方がより良い形で仕事ができる仕組みを目指しました。部門にとって必要な人材の要件を示すとともに，能力や適性，意欲のある社員に手を挙げていただき，マッチングさせられるよう，上司と相談しながら制度設計をしました。

実際に制度を利用した方からは，「手を挙げて良かった」という話を多く聞きました。自分自身の社内キャリアを自分自身でつくっていく，そういった主体性を発揮できる環境になりましたし，会社もそれを望んでいたのだと思います。

今，まさに「変革」や「チャレンジ」が当社のキーワードになっていますが，「ぜひこの仕事をやりたい」という社員は，挑戦する機会がありますので，しっかりと準備をし，熱意を持って取り組んでいただきたいと思います。

総務部副部長時代には，法務室の立ち上げにも携わり，初代の法務室長となりましたが，どのような思いを持って新たな組織を立ち上げましたか。

法務室の立ち上げは，当時の私の上司である安倍顧問が以前からトライしていた案件でした。経営に直結する法的諸課題へ適切に対応するとともに，会社や事業所独自のルールや考え方と法的ルールとのギャップを解消し，職場のコンプライアンス定着のために継続的な支援をする法務室の必要性は私も十分に理解していましたので，なんとか実現したいと思っていました。社内調整や必要な手続きが非常に多く，組織を一つつくることは大変なことだと実感しましたが，上司と相談しながら，今後の会社のためにも，今ここで「やり切る」という思いで，なんとか立ち上げることができました。「やり切る」とは当事者意識を持ち，自分が解決するという強い気持ちを持って，悔いなくやるということで，私のモットーとしている言葉です。環境が目まぐるしく変わり，多種多様な法務相談が寄せられる昨今の状況において，法務室が社内で頼りにされる存在になっているというのは，非常に嬉しい限りです。



人財部副部長時代-送別会で

「総力戦」で乗り切った大震災

―災害対策本部事務局長として感じたこと―

これまでの会社生活で，最も印象深い仕事は何でしたか。

やはり東日本大震災への対応です。震災当日，電力10社の総務部長会議が東京で午後3時から開かれる予定でした。午後2時40分過ぎに会場のビルに入ったところ，東京でもすごい揺れがあり，すぐ隣の当社東京支社に駆け付けました。そこで見たテレビで津波が家屋や電柱を押し流す映像を見て，とても現実のものとは思えませんでした。

私は当時，総務部長として，災害対策本部の事務局長という職務を担う立場だったため，一刻も早く帰るべく，東京支社に車を手配してもらいました。すぐに仙台に向かいましたが都内の混乱や道路遮断のため，本店に着いたのは3月12日，翌土曜日の夕方でした。運転手さんには丸一日休まずに本当によくやっていただきました。

そこから事務局に入り，その後はずっと会社に泊まり込みでした。当時，海輪会長が社長（対策本部　本部長），高橋相談役が会長というお立場で，本部の指揮に当たっていました。東日本大震災の対応を通じて思ったのは，大規模災害対応というのは，近代の戦いでいうところの「総力戦」だということです。配電部や電力システム部，火力部や原子力部といった設備部門の前線での復旧対応，全体の情報を収集して大局的な決断をして指示する対策本部の役割，現地の食糧や車の燃料といったものを補給する後方支援部隊といった，全ての役割を担う部隊と社員全員が力を合わせた総力戦じゃないと大規模災害は乗り切れないと思いました。3.11の時はその総力戦を東北電力グループとしてしっかり戦い抜いたと思っています。



東日本大震災時-非常災害対策本部会議の様子

来年で震災から10年が経過しますが，震災の経験をどのように次の世代に引き継いでいきますか?

災害の体験は言葉で伝えることもある程度はできると思いますが，やはり体験しないことには，なかなか本質部分は分からないと思います。自然災害がないに越したことはありませんが，昨年の台風，そして今年も大雨や台風といったいろいろな災害が発生し激甚化しています。その時々の災害対応に従事する中で，体験，経験，知見を積み重ねていっていただく必要があると思っています。そういった積み重ねを通じて，東北電力ネットワークを災害対応や防災の面で，トップランナー，ナンバーワンの会社にしていきたいと思っています。

「共感の輪をつなげる」

―社長にとっての「より、そう、ちから。」―

坂本社長の「より、そう、ちから。」について教えてください。

「より、そう、ちから。」は，「共感の輪をつなげていくこと」と思っています。

これはいいものだ，役に立つ，といったお客さまが喜ぶ



ようなもの，感情に訴えかけるようなものでなければ，共感していただくことはできません。

また，当社グループ社員が本当に信頼，信用がおける人なのかということも重要です。会社としての考え方やサービスの内容などを説明する中身の合理性，感情面に訴えかけるもの，そして，実際にそれを訴える人の信頼と信用。その3つがあれば，共感をいただくことができるのではないかと思います。その共感の輪を一つ一つつなげていって，東北・新潟エリア全体に広げていくことが「より、そう、ちから。」の推進力にもなるし，大きな成果にもつながっていくのではないかと思います。



火力原子力本部長時代-ソフトボール大会の表彰式で

共感の輪をつなげていくために，ご自身で心掛けていることを教えてください。

会社にいらっしゃるお客さま応対はもちろんのこと，出張の際にも，現地の事業所にできる限り顔を出したり，自治体の関係者にごあいさつをしたりすることで，積極的に，自らコミュニケーションを取るように心掛けています。そうすることによって，会社の姿勢・自分の姿勢が伝わっていくのではないかと思います。

電力のプロを束ね，総合力を発揮
―東北電力ネットワーク初代社長就任―

あらためて社長に就任されてのお気持ちをお聞かせください。

送配電事業の分社という，東北電力にとっての大転換期を迎えた中で，あらためて電力の安定供給という当社の使命を再認識したところです。専門性のある従業員が多い会社なので，おのおのの専門分野において，自身の力を思う存分発揮できるような働きやすい職場づくりを心掛け，それらを束ねて一つの大きな力にしていくように取り組んでいきたいと思います。

また，新型コロナウイルス感染症が拡大を続けていますが，安定供給に向けたさまざまな業務とコロナ対策の両立ということで，皆さんには非常に負担も掛けていることと思います。そのような厳しい環境下で，指定公共機関として，全ての生活・経済の基盤である電力の安定供給という責務を果たすために努力していただいていることについて，心より感謝しています。

コロナとの戦い，withコロナは当面続くと思いますが，今後も電力の安定供給に向けて，コロナ対策には会社としても十分留意していきたいと思います。

「目的意識」，「当事者意識」，「仲間意識」
―ビジョン実現に向けて3つの意識を―

最後に従業員へのメッセージをお願いします。

中長期ビジョンの実現に向けて，電力供給事業の構造改革を進めていくことがまずは求められていきます。そのためには，これまでの効率化の取り組みに加えて，AIやIoT，ドローンといったさまざまなデジタル技術の導入や，既存の事業のやり方をデジタル化していくということが必要です。

また，当社がこれまで蓄積した知識や経験をスマート社会実現のために活かすことが大事になります。

ビジョン実現のためには，「目的意識」，「当事者意識」，「仲間意識」の3つの意識を持って行動，活動していただきたいと思います。

「目的意識」とは，皆さんそれぞれの仕事が大きな目的につながっていることを意識していただくということです。自分自身の仕事は会社全体の中の一部分だと思うかもしれませんが，その仕事は最終的には東北電力ネットワークの使命遂行につながり，地域の方々への貢献につながっています。このような大きな目的の連鎖の中に，一つ一つの仕事があるというふうに考えていただきたいと思います。



イソップ寓話（ぐうわ）「3人のレンガ職人」では，同じようにレンガを積み上げている3人に対し，「なぜレンガを積んでいるのか」と聞いたところ，1人目は「ただレンガを積んでいるだけです」と，2人目は「お城を造るために積んでいます」と，3人目は「王様のお城を造っています。頑丈で，立派なお城を造るために石を積んでいます。」と三者三様の返答があったという話があります。

同じ仕事をしていても，3人目の人のように，大きな目的を持つことで，一つ一つ石を積む行為が意味のあるものとなり，やりがいも生まれます。「ビジョン実現」，「スマート社会実現」を通じて，当社・地域が発展するという「目的」を常に意識して，日々の業務，ネットワーク設備・技術・情報などの高度利活用に取り組むとともに，新たなビジネスの開拓に積極果敢に挑戦していきましょう。

「当事者意識」とは，まさに仕事の主人公が自分自身なんだと思うことによって，いろいろな問題意識が出てくるということです。「この問題をどう解決しよう」「もっと良くしてやろう」と考えることで，より良い仕事につながっていきます。

最後の「仲間意識」は，仲間と協力してやることによって，相乗効果が生まれ，より大きな仕事ができるということです。これは先ほど東日本大震災の対応における「総力戦」にもつながることです。

中長期ビジョンは，ご存知の通り，電力供給事業の構造改革と東北発のスマート社会の実現という2つの大きなテーマがあります。2つのテーマは，これまでの取り組みとは大きく次元を異にするニューフロンティアですが，実現に向けて，「希望」と「使命感」を持って，グループ一丸となって共に歩んでいきましょう。

本日はありがとうございました。

坂本社長のプロフィール

プロフィール

生年月日：1955年11月29日
出 身 地：秋田県横手市
血 液 型：B型

座右の銘

道は開ける

➡ 自分の意志や努力も大事ですが，自分以外のいろいろな力があって，初めて道というのは開かれます。東北電力ネットワークの「道」が開かれるよう，皆さまと力を合わせていきたいと思います。





モットー

やり切る

➡ 本当に悔いのないようにやり切るということをモットーにやっていけば，大概のことはできると思っています。

最近の好きな言葉

初心忘るべからず

➡ 常に，古い自分・今までの自分を断ち切って，新しい気持ちで新しい取り組みをすることを忘れずに仕事をしたい。



「より、そう、ちから。」
第5期推進サポーターキックオフミーティング開催

8月20日，第5期「より、そう、ちから。推進サポーター」を対象としたキックオフミーティングが開催されました。本店会場と各支店会場を従来のテレビ会議システムで結んだ他，各会場に参加できなかった事業所については，テレビ会議システムに加え，8月から運用開始となったTeamsビデオ通話機能でグループを形成し，オンラインディスカッションを実施しました。

キックオフミーティング概要

01 「より、そう、ちから。」の“深化”に向けたブランド動画上映



第5期推進サポーターには「より、そう、ちから。」に込められた思いや，中長期ビジョン実現に向けた「より、そう、ちから。」の在り方を事業所で伝播していただくこととしています。

ミーティング冒頭では，樋口社長のビデオメッセージと事業所内で伝播していただきたいことを組み合わせた動画を投影しました。

樋口社長メッセージ（抜粋）

東北電力グループは，「東北電力グループ中長期ビジョン」において，「東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し，社会の持続的発展とともに成長する企業グループ」を2030年代のありたい姿として掲げ，これに向けて，電力供給事業の徹底的な競争力の強化とスマート社会実現事業の早期収益化を通じたビジネスモデルの転換に挑戦していくこととしています。

その第一歩は，「より、そう、ちから。」に込められた思いの実践，すなわち，お客さまや地域の目線に立ち，お客さまのニーズや地域の課題に向き合い，「東北電力グループだからできること」でお応えしていくことです。

あらためて，「より、そう、ちから。」に込められた思いを再確認し，日々の業務で「より、そう、ちから。」を実践していただきたいと思います。

そして，「お客さまや地域の皆さまにもっとよりそうために，自分の仕事をどのように変革すべきか」を考えてほしいと思います。変えるべきものは意識です。これまでの前例にとらわれず，柔軟な発想で果敢に挑戦し続けてください。

全従業員の皆さんには，日常業務の中で工夫できる余地がないか，これまでよりも一歩踏み込んで模索し，「より、そう、ちから。」を深化させていただくことを期待します。

東北電力グループの全ての従業員の皆さん一人ひとりの「より、そう、ちから。」を結集し，2030年代のありたい姿を実現していきましょう。

「より、そう、ちから。」の“深化”

従業員一人ひとりが，お客さま・地域の声を積極的に拾い上げ，解決することにより「より、そう、ちから。」の取り組みをこれまで以上に“深化”させていく

- お客さまにより沿う → これまで以上にお客さまニーズに沿ったサービスを提供
- 地域に寄り添う → 信頼獲得・向上を目的とした活動にとどまらず，地域課題の解決に資する活動を展開

※本動画（「より、そう、ちから。」の“深化”に向けて）はH.A.N.D.S.ー東北電力ブランドに掲載しています。ぜひご覧ください

02 「より、そう、ちから。」の“深化”に向けて，グループディスカッションを実施

1 ステークホルダーに対する「より、そう、ちから。」の深化につながるアクションを考える





こんなアイデアが生まれました♪

- 業務上で関わりのある社外団体の担当者に対して，当社のイメージや困り事，地域課題などを聞き取る（必要に応じてアンケートを実施する）
- グループ企業の関係者と情報交換する機会を設け，業務上の課題などを共有する

2 「より、そう、ちから。」に込められた思いなどの事業所内への伝播方法を考える





こんなアイデアが生まれました♪

- 所内会議等において，動画「より、そう、ちから。の“深化”に向けて」を上映するとともに，事業所長や所属長より，今後の取り組みの方向性などを説明する機会を定期的に設ける
- 事業所長自らが，自所・他所の良好事例などについて，メールやTeamsを活用して所員へ定期的に発信する

参加者の声



半日と短い時間でしたが，他事業所のアイデアなどを確認することができ，今後の活動に活用できると思いました。



何かの企画を実施すればゴールにたどり着くものではなく，日常的に真心を込めた対応などの地道な取り組みが必要だと考えます。そのため，従業員一人ひとりに思いを伝える（伝播する）ことが大事であり，一番の近道であると思うため，実現に向けて事業所内を巻き込みながら取り組んでいきます。



事業所長や職場の上司，他課の管理職からも，職場全体で取り組みを推進していくという言葉，行動があると助かります。

ブランド事務局より

第5期推進サポーターの皆さん，キックオフミーティングに参加いただきありがとうございました！ 各事業所などでの取り組みを展開していくに当たり，事務局への要望や不安の声も寄せられていますが，それらを活かし，サポーターの皆さんが活動しやすくなるよう，定期的な情報発信やフォローなども実施していきます。一緒にプロジェクトを盛り上げていきましょう！

ブランド事務局からのお願い



ソーシャルコミュニケーション部門
コミュニケーション企画ユニット
佐藤 大介 主任

- 「ライフスタイルを提案する企業への転換」をコンセプトとして策定された「より、そう、ちから。」と中長期ビジョンで目指す姿の方向性は一致しています。それぞれに込められた思いを理解し，日常業務の中でお客さまや地域の方々の声に耳を傾け，その声に対してこれまで以上に丁寧にお応えしていくこと（＝「より、そう、ちから。」の深化）がビジョンの実現にもつながっていきます。
- 各事業所長などのリーダーシップに基づき取り組みを進め，推進サポーターの皆さん（今期より役割を以下のとおり見直し）にそれを補佐していただきますが，あくまでも**主役は皆さん一人ひとり**です。日常業務の中で工夫を重ね，良い取り組みを東北電力グループ全体に広げていきましょう！

【第5期「より、そう、ちから。推進サポーター」の役割】

1. グループスローガン「より、そう、ちから。」に込められた思いの理解，各部門・室部・事業所内への伝播
2. 所属部門・室部・事業所内の各職場や各従業員の日常業務における「より、そう、ちから。」の体現に資する取り組みの発信・共有

【お知らせ】ぶらぶろサイト「H.A.N.D.S.ー東北電力ブランド」をリニューアルした他，S-WINGの「経営方針・メッセージ」にもグループスローガン「より、そう、ちから。」のページを開設しました。ぜひご覧ください！

Road to 再稼働 1

宮城県が主催する住民説明会において女川原子力発電所2号機の安全対策を説明

8月1日から19日にかけて，宮城県が主催する「女川原子力発電所に関する住民説明会」が開催され，当社は，女川原子力発電所2号機の安全対策について説明しました。

住民説明会の対応状況について

住民説明会は，女川町，石巻市，東松島市，南三陸町において，計7回開催されました。

説明会には，原子力規制庁，内閣府，資源エネルギー庁，当社の4者が説明者として登壇しました。当社からは，増子副社長をはじめ，原子力部門・土木建築部門の関係者が出席し，女川原子力発電所2号機の安全対策の概要について説明しました。



安全対策について説明する増子副社長（前列左）
（前列右：金澤原子力部長，後列右：若林女川原子力発電所長，後列左：羽鳥土木建築部長）

開催日および会場

	開催日	会場
1回目	8月 1日（土）	県立支援学校女川高等学園
2回目	8月 2日（日）	石巻市立牡鹿中学校
3回目	8月 8日（土）	石巻市総合体育館
4回目	8月 9日（日）	河北総合センタービッグバン
5回目	8月10日（祝・月）	石巻市立万石浦中学校
6回目	8月18日（火）	東松島市コミュニティセンター
7回目	8月19日（水）	南三陸町総合体育館

説明者および説明内容

説明者	説明内容
原子力規制庁	東北電力（株）女川原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の結果について
内閣府	女川地域における原子力防災の取組と国の支援体制について
資源エネルギー庁	我が国のエネルギー政策について
東北電力	女川原子力発電所の安全対策について

参加者からいただいた主なご意見について

当社に対し，説明会の参加者からは，重大事故が発生した際の事業者の責任や補償に関するご意見をはじめ，安全対策の具体的な取り組みに関する質問など，多数のご意見・ご質問を頂戴しました。

万が一，フィルターベント装置が使えなかった場合には，どのように対応するのでしょうか

東北電力は，事故があったら会社を潰してでも補償する覚悟があるのでしょうか



放射性物質の放出事故が起こる可能性はあるのでしょうか

参加者からいただいたご意見・ご質問に対し，当社は丁寧な回答に努めた

説明会の様子（YouTube）や配付資料については，宮城県ホームページで公開されていますので，ご興味のある方は，ぜひご覧ください。

宮城県ホームページ（掲載ページURL）

https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/onagawa-setsumei-movie.html

当社としては，参加者からいただいたご意見を真摯に受け止め，引き続き，安全性の向上に向けて，安全対策工事や新規制基準適合性審査などにしっかりと取り組んでいきます。また，今後も，取り組みの状況について，さまざまな機会を捉えて丁寧に説明していくこととしています。

Road to 再稼働 2

宮城県知事，女川町長，石巻市長による女川原子力発電所の視察について

8月6日，立地自治体の首長（宮城県知事，女川町長，石巻市長）が女川原子力発電所を視察しました。当日は，樋口社長，加藤常務，若林女川原子力発電所長をはじめとした関係者が対応に当たるとともに，立地自治体の首長には，地震や津波，重大事故対策などの安全対策の状況を確認いただきました。

視察の様子について

津波対策の一つである海抜29mの「防潮堤」の工事状況や，原子炉建屋内における「耐震工事」の状況，万が一重大事故が発生した場合，外部への放射性物質の放出を可能な限り低減させる「フィルター付格納容器ベント装置」の設置状況など，安全対策工事の現状を視察いただきました。



防潮堤の前で説明する樋口社長（左から2人目）
（右から亀山石巻市長，須田女川町長，村井宮城県知事）



フィルター付格納容器ベント装置の説明の様子
（右から村井宮城県知事，須田女川町長，亀山石巻市長。説明者は，若林女川原子力発電所長）

視察後の講評について

村井宮城県知事

- 発電所視察は平成23年4月以来であり，9年の時を経て，**安全対策工事が着実に進められている**状況を確認することができ，**現場状況の変容ぶりに大変驚いた。**
- 地震の地鳴りまで再現した訓練を実施していると聞き感心した。今後も，協力企業も含め，**教育訓練に取り組んでほしい。**
- 女川原子力発電所に関する情報は，**タイムリーに包み隠さず県民に知らせてほしい。**それが信頼を勝ち取るための最大の方策である。

須田女川町長

- **防潮堤や耐震工事など安全対策がとられている様子が実感できた。**
- 発電所には多くの作業員が従事しており，**働きやすい環境をつくることで，より安全性に対する意識も高まる**ことから，東北電力全体でつくり上げてほしい。

亀山石巻市長

- さまざまな安全対策が進んでおり，**大変力強く感じた。**
- 今後も，**工事計画や保安規定の審査にしっかりと対応**するとともに，**住民への情報提供を丁寧にお願いしたい。**

立地自治体の首長の講評内容から，当社としては，これまでに実施してきた安全対策工事や原子炉設置変更許可に向けた対応について，一定の評価をいただくことができたのではないかと考えています。今後とも，安全対策工事や新規制基準適合性審査に全社を挙げて取り組んでいくとともに，対応状況については，引き続き，分かりやすく丁寧な情報提供に努めていくこととしています。



東通原子力発電所断層評価に係る審査が一通り終了

2020年7月17日に開催された東通原子力発電所1号機の審査会合において，「敷地周辺～敷地の地形，地質・地質構造（震源として考慮する活断層の評価）」が審議され，「震源として考慮する活断層」（地震を起こす活断層）の評価が確定し，この中で敷地～敷地近傍の断層は，「震源として考慮する活断層」に該当しないとの当社評価が了承されました。

今回の特集では，東通原子力発電所の断層評価に関する経緯などについて，審査対応に日々奮闘する社員から解説をいただきました。



この方にお話を伺いました!

土木建築部
（火力原子力土木）
外崎 貴之 さん

Q 「震源として考慮する活断層」とは?

A 「震源として考慮する活断層」は，原子力発電所の耐震設計を行う際に用いる基準地震動の評価対象となる活断層のことです。今回の審査で敷地から約100km範囲の評価対象となる活断層が確定しました。

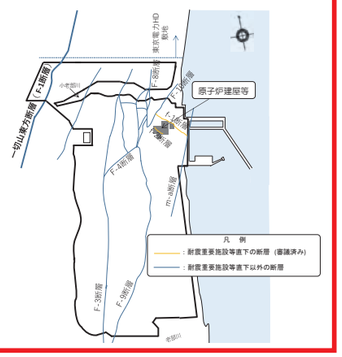
敷地内にある断層については，これまで「有識者会合」も含め議論がなされてきましたが，今回の審査会合で「震源として考慮する活断層」に該当しないとの当社評価が了承されました。

「震源として考慮する活断層」の評価

敷地周辺の断層
⇒ 図に示す断層が「震源として考慮する活断層」※1に該当する



敷地～敷地近傍の断層
⇒一切山東方断層（F－1断層）をはじめ，「震源として考慮する活断層」に該当しない



※1 他の下北事業者（日本原燃，RFS，電源開発）の評価と整合
※2「震源として考慮する活断層」のうち，東通の敷地に最も大きな影響を与える地震は，横浜断層（西傾斜）による地震
地震動評価上の保守性を確保するため，「震源として考慮する活断層」に加え，横浜断層（東傾斜）による地震も想定

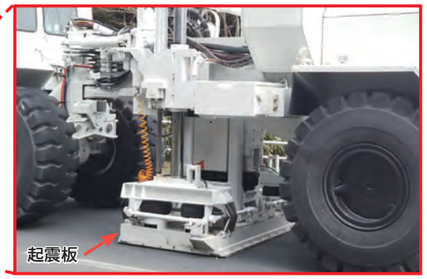


ボーリング調査

反射法地震探査※3による調査

※3 起震車の起震板で人工的に発生させた振動（弾性波）が地中を進行し，速度と密度が変化する地層の境界面などで反射して，地表へ戻ってきた振動を受振器（地震計）で捉えた記録を処理・解析することにより，地下構造を解明する調査手法







この方にお話を伺いました!

土木建築部
（火力原子力土木）
中満 隆博 さん

Q 東通原子力発電所の断層に係る審査は，なぜ多くの時間を費やしたの?

A 東通原子力発電所の敷地内断層については，原子炉設置許可申請時（1996～1998年）以降，当社は「活動性なし」と評価してきました。しかし，2012年11月，原子力規制委員会に「原子力発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合」が設置され，この会合において，当社は膨大な調査データなどを示し，敷地内断層に活動性がないことについて説明を尽くしましたが，敷地内のF-3断層，F-9断層が「将来活動する可能性のある断層等」に該当するとした評価書がまとめられ，2015年3月に原子力規制委員会に受理されました。

2014年6月に設置変更許可申請をした新規制基準適合性審査では，有識者会合の評価書は「重要な参考意見」と位置付けられ審査が進められました。

審査では，断層の活動性評価の判断基準の一つに，約12～13万年前以降の地層の変位・変形があります。東通原子力発電所の場合，敷地内断層を被覆する約12～13万年前の地層の一部にたわみ等の「第四系の変状」が見られることから，適合性審査開始以降も反射法地震探査，ボーリング調査，トレンチ調査などの補足調査を行って新データを取得し，審査に臨んできました。

2019年には延長約40kmの反射法地震探査や総延長2,400mのボーリング調査等を実施し，その結果などから説明性の向上を図ることができたため，F-1断層（一切山東方断層）をはじめとする敷地～敷地近傍※4の断層が，地震を発生する地下深部まで連続しないことについて理解が得られ，「震源として考慮する活断層」に該当しないことが了承されました。

※4 敷地を中心とする半径5km程度の範囲



この方にお話を伺いました!

土木建築部
（火力原子力土木）
坂東 雄一 さん

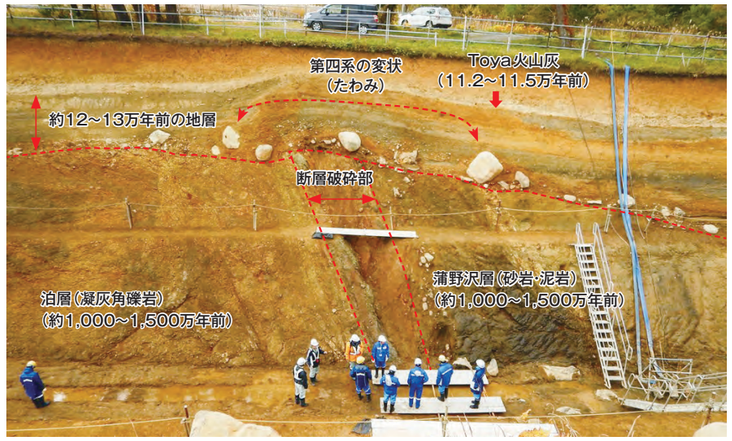
Q 東通原子力発電所1号機の地震・津波分野の今後の審査は?

A 新規制基準適合性審査では，地震や津波などの大規模な自然災害への対策について11の項目（下表参照）が審査されます。

今回，断層評価に係る審査が一通り終了したため，今後は基準地震動※5の策定に向け，①プレート間地震，②海洋プレート内地震，震源として考慮する活断層による ③内陸地殻内地震という，震源を特定して策定する地震動の審査が行われます。

津波などの審査も含め，再稼働に向けて引き続き丁寧な対応に努めていきます。

※5 原子炉施設の耐震設計の基準として，供用期間中（運転開始から廃炉までの間）に極めてまれではあるが発生する可能性があり，施設に大きな影響を与える恐れがある地震動のこと



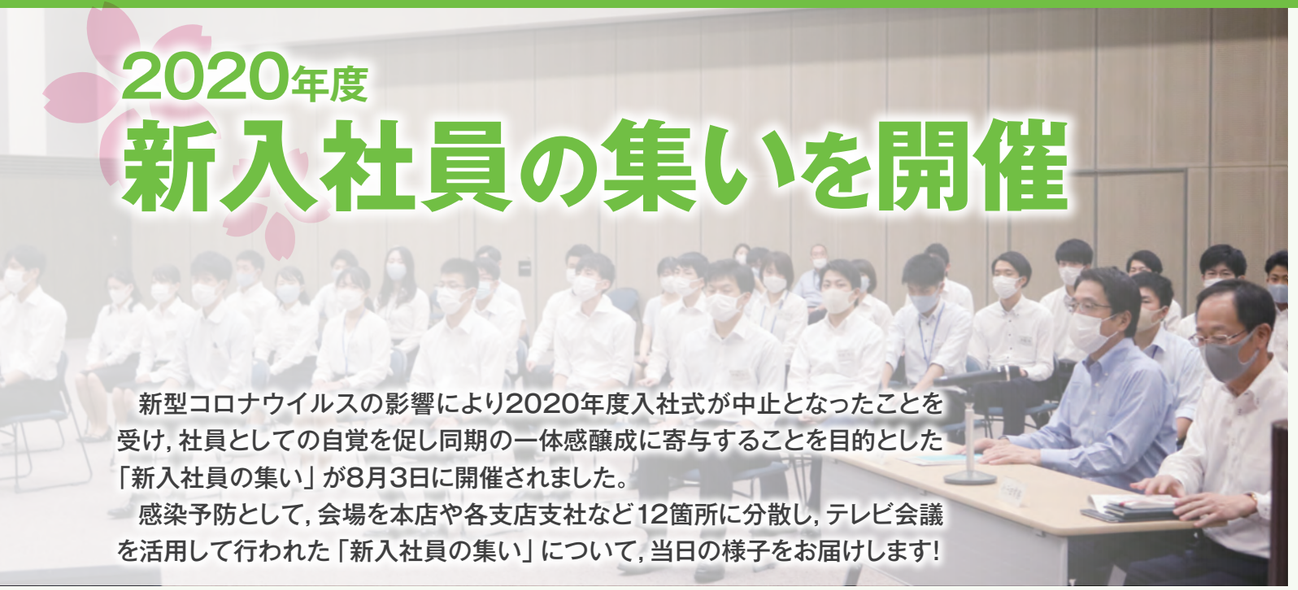
トレンチ調査（第四系の変状）の状況

地震・津波等の主な審査項目		審査状況
地質	耐震重要施設等直下の断層	概ね審議終了
	耐震重要施設等直下以外の断層	概ね審議終了
地震動	地下構造	概ね審議終了
	震源を特定して策定する地震動	次回審査
	震源を特定せず策定する地震動	今後審査
	基準地震動	今後審査
	年超過確率	今後審査
津波	基準津波	審査中
	年超過確率	今後審査
火山事象		今後審査
基礎地盤・斜面の安定性		今後審査

□ 7/17の審査会合で審議された範囲

詳しくは「EC Network 通信42」をご覧ください!
「H.A.N.D.S.」-「ソーシャルコミュニケーション部門ポータルサイト」-「エネ・コミ ポータルサイト」-「EC Network通信」

2020年度
新入社員の集いを開催



新型コロナウイルスの影響により2020年度入社式が中止となったことを受け，社員としての自覚を促し同期の一体感醸成に寄与することを目的とした「新入社員の集い」が8月3日に開催されました。

感染予防として，会場を本店や各支店支社など12箇所に分散し，テレビ会議を活用して行われた「新入社員の集い」について，当日の様子をお届けします!



新入社員点呼の様子（第1部）

次　第

【第１部】～各会場を TV 会議接続～
（1）新入社員点呼
（2）両社長訓話
（3）新入社員からの近況報告
（4）出席役員紹介
（5）社歌清聴

【第２部】～各会場で個別に実施～
グループワーク

両社長訓話

両社長より，ご自身の新入社員時代の体験をもとに，新入社員へお話をいただきました。内容の一部をご紹介します。

東北電力｜樋口社長

新入社員時代を振り返ると，早く一人前になりたくて，図面を持ちながら配管ラインを追い，発電所の仕組みを理解しようと走り回った記憶があります。

- 1年目のうちに疑問に思うことや分からないことは遠慮せずに何でも聞いて，しっかりと自分のものにしてください。「鉄は熱いうちに打て」といいます。若いうちに吸収できるものは何でも吸収してください。
- 人と人との関わりの中で業務を進めることが大切です。デジタル化が進展していますが，直接会ってお話しなければ真意が伝わらない場面もあります。メールなどのツールと，人と人との直接的なやりとりを上手に使い分け，コミュニケーションをしっかりと図るようにしましょう。





東北電力NW｜坂本社長

新入社員の皆さんに3つのアドバイスを贈ります。

- 1つ目は「仕事を知る」ことです。仕事には「責任」を伴い，会社やその先にいるお客さまのために確実に成し遂げる必要があります。そのためには，先輩からの助言を受けることや，自ら勉強することで仕事を知ることが大切です。
- 2つ目は「職場と会社を知る」ことです。皆さんの仕事が全て職場や会社の仕事につながっているという意識を持って取り組みましょう。やりがいを感じられ，格別なものになるはずです。
- 3つ目は「地域社会を知る」ことです。地域社会やお客さまがいて，当社の事業が成り立っています。仕事やボランティア活動，行事への参加などを通じて地域社会を知ってほしいと思います。





新入社員からの近況報告

新入社員からの近況報告の内容を一部ご紹介します。当日は両社長へ質問しアドバイスをいただきました。

福島支店発電・販売カンパニー（法人営業）　佐野 量子さん

主に特高・高圧受付業務を担当しています。この4カ月間，最も反省点が多かったのは電話対応です。お客さまによって置かれた状況がさまざまで，表情や心象を想像しながら対応することが難しかったです。

最近では，入社当初よりも落ち着いて，お客さまに安心をお届けすることを心掛けながら対応できるようになりました。また，先輩方に同行し，お客さまのもとに足を運ぶ際には，お客さまの声や話の流れに着目してメモを取り，営業日報の入力をするなど，販売活動にも積極的に取り組んでいます。

私は，自らを育んでくれた東北・新潟地域に恩返ししたいという想いで入社を志願しました。今後，日々の中で困難な局面に出会った際も，その信念を忘れずに乗り越えていきたいと考えています。





青森電力センター 配電技術サービス課　岩城 圭祐さん

私の所属する配電技術サービス課では，配電設備の保守・運用・管理を行っており，私は来年からの実務を目指し，教育・訓練に励んでいます。

この4カ月間，教育・訓練を受ける中で学んだことの一つは「素直さ」です。素直に話を聞き，まずはやってみること。その心掛けにより，これまでの私に不足していた前向きな思考，チャレンジしようという気持ちを生み出すことができ，「素直さ」が大切であると気付きました。これからの会社人生の基礎を作る今だからこそ，挑戦する気持ちを忘れず，仕事に励んでいきたいと思います。

いち早くわれわれのミッションである電力の安定供給に貢献し「何がなんでも電気をつける」という使命を達成できるよう努力していきたいと思います。





▶第1部では，テレビ会議を通じて，両社長，出席役員，各会場の新入社員と対面しました



出席役員紹介の様子（第1部）

▶感染対策として，社歌の斉唱は行わず，事務局より趣旨を説明した上で，社歌を清聴しました



社歌清聴の様子（第1部）

グループワーク

第2部では会場ごとにグループワークを実施しました。近況報告や今後の抱負を共有し，支店・支社幹部や事業所長からアドバイスをいただきました。同期同士で部門の垣根を越えて交流を深めるとともに活発な意見交換となりました。

【ディスカッションテーマ】
❶入社からこれまでの4カ月間を振り返り，仕事で成長した点・反省点，社会人生活をしてみての悩みなどはなにか
❷新入社員としての残り8カ月を，どのようなことを意識して業務に取り組み，1年後にはどのような社員になっていたいか

岩手会場



秋田会場



東通会場



事務局（東北電力 人財部・東北電力NW 人財部）より　「新入社員の集い」は，分散した会場でテレビ会議を活用し，リモートで新入社員全員が集うという新たな試みでした。新入社員の皆さんにとっては，スクリーン越しではあるものの，初めて同期全員と顔を合わせる貴重な機会となりました。新入社員の皆さんには，ここで得た同期同士のつながりを，ぜひ今後も深めていってほしいと思います。

2020年度 新入社員の皆さん

職場の先輩方，325人の新入社員をよろしくお願いします！

本店会場



青森会場



岩手会場



秋田会場



大館電力センター会場



宮城会場



山形会場



福島会場



新潟会場



女川原子力発電所会場



東通原子力発電所会場



研修センター会場



Close Up クローズアップ 生活提案部

おでCafe「東北・新潟☆元気プロジェクト」展開中!

「おでCafe」は,主に東北6県および新潟県の子育てファミリー層向けに提供している当社WEBコンテンツで,地元情報サイトが欲しいという声をもとに,「プレゼント企画(地元企業紹介)」「おでかけ情報」「お料理レシピ」などを,2019年9月より提供しています。

また,今般の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う,地元企業の営業自粛からの活動再開や,地域活性化のお手伝いを目的に,「東北・新潟☆元気プロジェクト」を実施しています(実施期間:2020年6月1日～9月30日)。

工夫を凝らしたさまざまな施策を各地で展開していますので,その一部をご紹介します。

Case1 「東北・新潟☆元気プロジェクト」参加企業と良好な関係を構築,東北電力のPRにつなげる

仙台北営業所

おでCafe「東北・新潟☆元気プロジェクト」の掲載協力店であるパン屋ジェノワーズブラン(岩切駅前店)様と連携し,「東北電力 快適応援プロジェクト」のPRを実施。

当　社		お客さま
「おでCafe」にお店情報を掲載することで,地元の常連客にとどまらず,幅広くお店・商品を紹介し,売り上げに貢献	WIN WIN	食パンをお買い上げのお客さまへ「東北電力 快適応援プロジェクト」のチラシを封入していただくなど東北電力のPRを実施



食パンをお買い上げのお客さまへ東北電力のPRチラシを封入していただきました

岩切駅前店 おいしい食パン屋さん Genoise Store

× 東北電力

八戸営業所

コロナ禍でお客さまが減少傾向にあった化粧品会社POLA様と連携し,東北電力の料金プランや「よりそうeねっと」のPRを実施。

当　社		お客さま
●おでCafe「東北・新潟☆元気プロジェクト」に掲載することで,新規お客さま増 ●電気料金の最適メニューを提案	WIN WIN	電気料金が安くなったことを実感した同店は,来店されたお客さまに東北電力の料金メニューや「よりそうeねっと」などの良さを紹介



Case2 「東北・新潟☆元気プロジェクト」に掲載したことで,参加企業様に新規顧客が増え,事業実績に貢献!!

宮城支店

ウレタン素材を製造している(株)東北イノアック様に対し,支店法人営業と連携し,コロナ禍の影響により売り上げが減少している同社製品を,社内斡旋販売するとともに,おでCafe「東北・新潟☆元気プロジェクト」の掲載につなげられないかと同社に提案。3月に発売された「横綱マットレス」のプロモーションとして,おでCafeプレゼント企画に5枚提供いただいた。

その結果,多くのお客さまから応募をいただくだけでなく,おでCafeページから同社オンラインショップへリンクし,売り上げも上昇。

また,当社にとっては,おでCafeメルマガ登録者数の増加にもつながった。



仙台北営業所

ゼラチンを製造しているゼライス(株)様に対し,離脱防止対策の一環として,支店法人営業との連携によるおでCafe「東北・新潟☆元気プロジェクト」への掲載アプローチを実施。

掲載商品となった産学連携商品の「みやぎ杜の果実ゼリー」(限定商品300セット)は,例年であればお中元時期に完売する人気商品だったが,コロナの影響により,販売実績が伸び悩んでいた。

おでCafeに掲載し,自社ホームページのリンクを掲示したことにより商品の注文が増加して完売。

合計756,000円の売り上げにつながり,同社から感謝の言葉をいただいた。



Case3 「おでCafe」を活用し,地元企業とお客さまとのかけはし役に

秋田支店

秋田支店は,コロナ禍において地元企業の体力回復や将来的な交流人口拡大を目的に,当社社員が地元企業に対して「東北電力は何ができるのか」を徹底的にお客さまサイドに立って考え,一緒に汗をかいて,秋田を盛り上げる活動「おうちdeあきた」を展開。

おでCafeプレゼント企画では,ご応募いただいたお客さまからの応援メッセージを協業先オーナー様へお届けし,お客さまと地元企業をつないでいる。7月8日,協業先企業の一つであるナガハマコーヒー様(本社:秋田県大仙市)を新田秋田支店長が訪問し,お客さまから寄せられた応援メッセージを同社社長にお届けして交流を深めた。

おでCafeプレゼント企画でナガハマコーヒー様に寄せられたメッセージ抜粋

秋田県にお住まいのお客さま
高校生の頃からずっとお世話になっています。夫と付き合い始めたのもプロポーズされたのもナガハマコーヒーでした。大好きな思い出の場所です。ずっと応援しています!

宮城県にお住まいのお客さま
娘が以前住んでいて何度か訪れた秋田。懐かしい場所にコロナが落ち着いたらドライブしたいです。その時にはぜひお店にコーヒーを飲みに行きます。この時期お互い乗り切っていきましょう。頑張ってください。

山形県にお住まいのお客さま
新型コロナウイルスで世界中が苦しんでいますが,少しでも楽しく過ごしていただきたいという貴社の思いに,大きな感銘を受けています。頑張ってください!





左からナガハマコーヒー三浦常務,東北電力新田秋田支店長,ナガハマコーヒー長濱社長

ナガハマコーヒー 長濱社長より

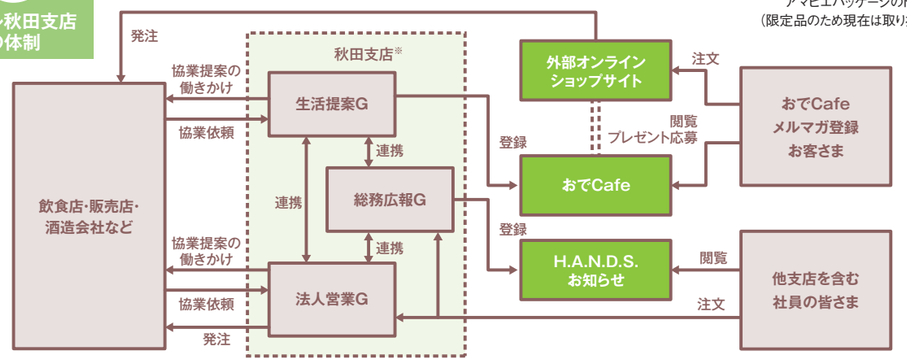
4月以降店舗営業を休業していた期間に,東北電力関係者の方から購入支援という形で心強いサポートをいただき,本当にありがたかったです。オンラインショップでは秋田県以外の社員の方からも購入いただき,その後リピーターとして購入いただいている方もいらっしゃいます。

おでCafeプレゼント企画には,とてもたくさんの方に応募いただきまして驚きました。このようなお客さまからのメッセージはすごく励みになります。また皆さんに恩返しさせていただければと思っています。



同社が疫病退散を願って作ったアマビエパッケージのドリップパック(限定品のため現在は取り扱っておりません)

参考 オール秋田支店の体制



※ 秋田県北営業所,秋田県南営業所の各課を含む

紹介事例は一部であり,各事業所においてもさまざまな取り組みを積極的に実施中で,東北・新潟の企業とお客さまとをつなぐツールとして,地域活性化につなげています。提携企業においても,おでCafeを活用した商品紹介によるPR効果も実感いただいているところです。

今後も,おでCafe掲載のみならず,BtoBtoC(企業と消費者の取引成立を支援するビジネス)により多様な地場企業と連携し,スマート社会実現に向けた基盤となる幅広いチャネルの構築に加え,個別の最適料金プランご提案などの離脱防止にも努めていきます。

特集Ⅱ
Feature


現場の状況（2020年8月末時点）

上越火力発電所 建設最前線

煙突・本館建屋 篇

上越火力発電所1号機は，2023年6月の運転開始を目指して，新設工事が進められています。

今回は，土木建築工事の中でも完成間近で，将来発電所のシンボルになる煙突の設置工事，鉄骨工事の最盛期を迎えている本館建屋工事についてお届けします。

煙突設置工事の概要

設備概要

【煙突諸元】
- 構造形式:鋼製一筒三角鉄塔支持型煙突
- 高　　さ:地上136m
- 筒身内径:5.5m

【主な施工内容】
- 杭 打 ち（2019年7～8月）
- 基礎工事（2019年9月～2020年3月）
- 煙突筒身･鉄塔建方（2020年4～7月）
- 付帯工事（2020年7～9月）

工事の変遷（2019年7月～2020年8月）

①杭打ち
杭打機の配置や施工順序を工夫することにより，狭隘なエリアにもかかわらず約2カ月で76セット（1セット当たり杭6本継ぎ）の鋼管杭（杭長70m）を施工

②基礎コンクリート打設
生コン車約780台分（約3,000㎥）のコンクリートを打設。打設時間は約18時間に及んだ

③煙突筒身建方
16分割した筒身を1,000tクレーンにて吊り上げ，高さ136mの煙突を構築

④付帯工事
9月末の完成に向けて配線工事や内部保護材の吹き付け作業を実施中










鉄塔最上部（地上70m）にて据付状況を確認

上越火力発電所建設所
土木建築課
阿部 俊逸 さん

上越火力発電所建設所
土木建築課
水嶋 竜 さん

工事担当者の声

煙突は将来発電所のシンボルになることから，一つ一つの業務に責任と使命を感じながら取り組んできました。

煙突設置工事は土木工事の中でも大規模な工事であり，工事工程の遅延が全体工程に大きく影響します。施工計画書や工程表を用いて綿密な打ち合わせを実施することにより，計画通り建方を完了することができました。

発電所本館建屋の概要


現場の状況（2020年8月末時点）


発電所本館建屋の完成予想図

発電所本館建屋は，発電機やタービンなど主要設備を格納する建屋となります。2019年7月から工事に着手し，杭工事，基礎工事を経て，現在は鉄骨工事を鋭意実施しています。

建屋概要
- 構造:鉄骨造
- 階数:3階建て
- 建築面積:4,075㎡
- 延床面積:7,726㎡
- 建物高さ:30.59m

工事の変遷（2019年5月～2020年8月）

①着工前
杭打機などの重機が乗り込めるように地盤改良を実施

②杭打ち
杭打機台数や圧送ポンプ容量の見直しなど，工程短縮に向けたさまざまな施策を実施し，約3カ月で259セット（1セット当たり杭5本継ぎ）の既製コンクリート杭（杭長60m）を施工

③基礎コンクリート打設
基礎（面積約4,500㎡×高さ約4.7m）を分割して施工。基礎構築期間は，約8カ月に及んだ。コンクリート打設量は，生コン車総計約5,400台（約22,000㎥）となった

④鉄骨建方
現在鋭意施工中。鉄骨総量は約3,300tとなる
（参考:東京タワー鉄骨総重量 約3,600t）










本館建屋の鉄骨組立状況を確認

上越火力発電所建設所
土木建築課
半間 正史 さん

工事担当者の声

新規プラントのプロジェクトに携われて大変誇りに思うとともにスケールの大きさに日々驚いています。大規模な工事であるからこそ，関係者が多岐にわたり，災害リスクが多く潜んでいます。安全に現場が進捗するように自ら情報を取りに行くことを心掛け，このプロジェクトが円滑に進むように日々調整を図っています。

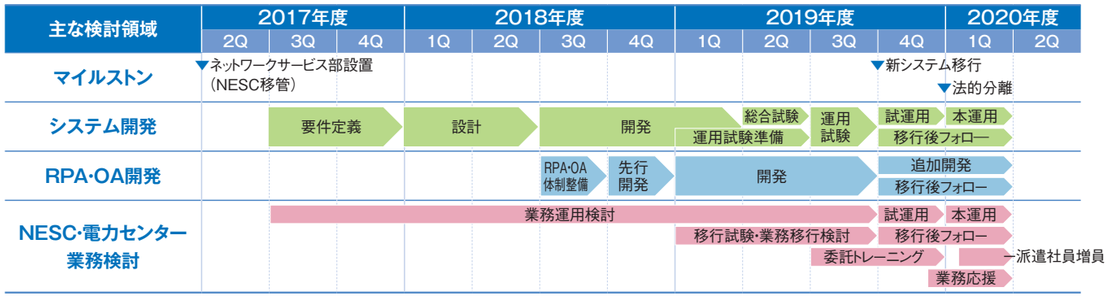
ネットワークサービス部門の奮闘

ネットワークサービス部門においては2020年4月の法的分離に伴い，従来の新電力に加えて，東北電力も託送契約の対象となり，業務量が大幅に増加することから，2017年度よりシステム開発などの対応を行ってきました。

本プロジェクトは，ネットワークサービス部門の業務全般に及ぶもので，足掛け3年にわたる大規模なものでしたが，社内外関係箇所の協力により，法的分離後も託送料金の算定・請求などの業務を遂行できることとなりました。

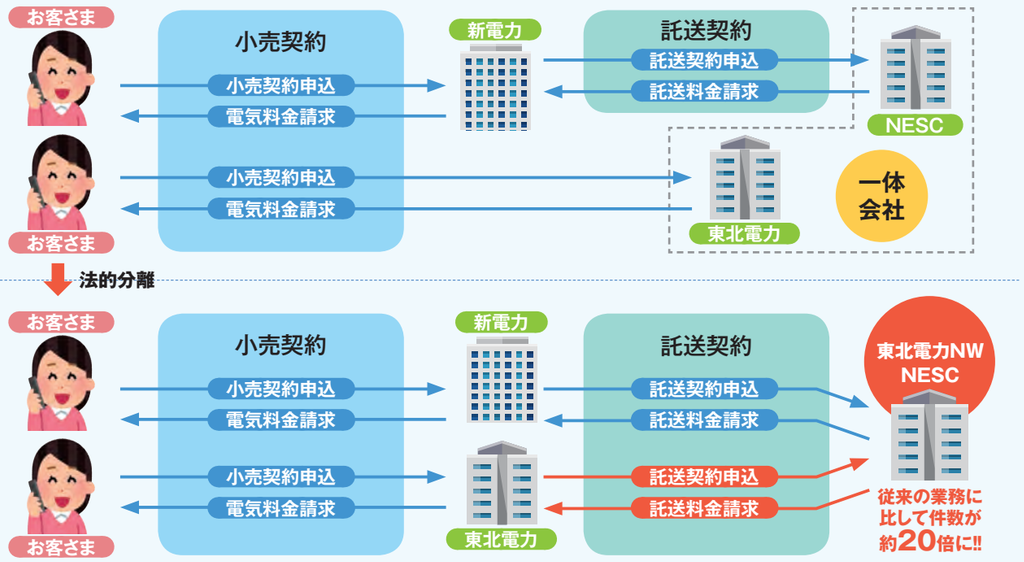
プロジェクトの概要

- 2020年4月の法的分離に向けて，2017年度よりシステム開発などの対応を実施
- 託送業務の根幹をなすシステムである新託送管理システムや連係するシステムの改修・開発を行うとともに，120個以上のRPA・OAを部門独自の運用体制で開発
- それらを前提としたネットワークサービス部門業務全般の運用見直しと外部委託先も含めたネットワークサービスセンター（以下：NESC）の業務処理体制の再構築を図った



法的分離による影響

法的分離後は，新電力と同様に**東北電力とも託送契約を行う必要がある**ことから，東北電力に関わる託送契約の申込受付や託送料金算定をNESCで行うこととなり，業務量が飛躍的に増加することとなった。



プロジェクトを振り返って

途中でさまざまな課題が発生したものの，長期間にわたる大規模なプロジェクトが，現時点で大きな問題に至ることなく業務を遂行できている要因としては，システム移行準備が本格化する前にヒト・モノ・カネの経営資源を投入し，必要な対応を実行できたことや，結果として現場主義に基づいて課題に対処できたことが大きかったと考えています。

Point!

- システム移行に当たり，移行手順の入念な設計と複数回の移行リハーサルを行うとともに，本番移行時はシステム領域有識者（システム担当者・外部コンサルタントなど）がシステム移行作業現場に常駐し，トラブルに対する迅速な意思決定とリカバリを図った
- システム移行後の**トラブル発生に備えて2020年1月4日（土）から「危機管理専任チーム」※をあらかじめ現場に配置。**システム移行後に発生した課題や潜在的なリスク，取りこぼし課題の検知・解消に取り組んだ
- 本社検討メンバーやシステム開発メーカー，RPA・OA開発部隊，外部コンサルティング会社など**関係者全てが現場であるNESCに常駐**して密なコミュニケーションを取り，課題の解消に取り組んだ
- 支社・電力センターを含めてNESCの**業務応援体制を事前に整え，**本番移行後の想定以上の業務量発生に対処した（2020年3月下旬～6月末にかけて，延べ約1,300人日の応援をいただいた）

※ ネットワークサービス部副部長をトップとして，関係する配電部とネットワーク情報通信部（現 東北電力ネットワーク 情報通信部）や外部コンサルタントがメンバーとして参画し，プロジェクト全体の予想されるリスクなどを横断的に管理するチーム

社外関係者へ感謝状を贈呈

本プロジェクトにおいてご協力いただいた各社に対して感謝の意を表して，坂本社長から感謝状を贈呈しました。関係各社の皆さま，長期間にわたり，本当にありがとうございました。

※KPMGコンサルティング株式会社様はご都合により参加できなかったため，別途贈呈する予定

対象者	功績
KPMGコンサルティング株式会社	●PMO※としてプロジェクトの推進 ●RPA開発
三菱電機株式会社	●託送業務の根幹をなす「新託送管理システム」の開発
株式会社Minoriソリューションズ	●システムテストへの貢献，RPA開発
マンパワーグループ株式会社	●事前の人員強化とトレーニングを実施 ●本番業務開始時の派遣社員増員
東北インフォメーション・システムズ株式会社	●託送管理システムと連係する重要システムの改修 ●RPAの開発・保守・運用

※PMO（プロジェクトマネジメントオフィス）：プロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う機能や専門組織



感謝状贈呈の様子：マンパワーグループ（株）吉田常務執行役員東日本営業本部本部長（左）と坂本社長（右）



感謝状贈呈式に出席された皆さま

本プロジェクトは非常に大規模なもので，緊張感を持って取り組みました。

さまざまな課題が発生しましたが，社外の方々，関係室部，支社，電力センターの皆さまからご協力いただき，今日の安定稼働に至ることができました。あらためて皆さまに感謝申し上げます。

本プロジェクトの経験を活かして，今後予定される各種制度対応や次期システム検討などの大規模案件に取り組んでまいります。



ネットワークサービス部
菊地 善一 部長

Close Up（クローズアップ）
東北電力人財部
東北電力NW人財部

2019年度 公的資格S級取得者および大学・大学院学位取得者の声

環境変化の著しい今日の社会において，今後も当社が成長を遂げていくためには，社員一人ひとりが知識や技能，能力を高めるために目標を設定し，自己革新を図ることが重要です。

今回は，2019年度の公的資格S級取得者および大学・大学院学位取得者，CCMランクS級取得者の中から，４人の方にお話を伺いました。

皆さんも，この体験談を参考に，自身のさらなるステップアップのため，公的資格の取得などに積極的に挑戦してみてはいかがでしょうか。

- Q1 資格取得に挑戦したきっかけはなんですか？
- Q2 取得に向けてどのような取り組み・対策をしましたか？
- Q3 取得した資格が業務や日常生活に役立つ点を教えてください
- Q4 資格取得を考えている社員の皆さんへメッセージをお願いします

今回取得した資格　原子炉主任技術者（口頭・筆記）



東通原子力発電所
発電管理課
小池 都司さん

Q1 A. 大学で原子力を専攻していたので入社前から取得を意識していました。原子炉運転員になると周囲はベテランばかりで，経験が少ない分，まずは知識がないと再稼働に貢献できないと感じていたところ，入社3年目で受験対策講座があると聞き，手を挙げたことがきっかけです。

Q2 A. 主に休日にまとめて図書館で勉強し，勉強後は息抜きのためにそのまま読書することをルーティーン化していました。また，原子力に関する時事問題も出題されるため，日常業務でもアンテナを高くすることを心掛けていました。二次面接の前には，職場の先輩方にリハーサルをしていただいたことが本番に活かせたので，感謝しています。

Q3 A. 原子炉起動・停止訓練の理解が深まり，変動するパラメータの予測や注意点など視野が広がりました。面接では安全に対する姿勢・考え方や“今”原子炉主任になったらどう行動するかを問われるので，試験対策を通じて日々の業務への意識も変わりました。

Q4 A. 難関資格では半年～年単位の長期戦になり，家族のサポートが必要になるかもしれません（私の場合は妻の育児分担が増えました）。しかし，挑戦により得られる経験・知識・自信は少なくないので，まず一歩踏み出すことが重要だと思います。

今回取得した資格　第一種電気主任技術者



グループ戦略部門
経営企画ユニット付
独立行政法人日本貿易振興機構 出向
宮口 祐貴さん

Q1 A. 電気主任技術者三種，二種と合格し，自然な流れで一種にも挑戦しました。家族もいるため不合格のたびにもうやめようと思うこともありましたが，自分で決めた目標を諦めきれず，勉強方法などを毎年見直し，6回目の受験で合格することができました。

Q2 A. 平日は朝，昼休みの隙間時間，帰宅後と毎日コツコツ勉強しました。また，試験前は家族の協力もあり，休日10時間ほど勉強しました。家族には感謝しています。勉強方法は，過去問24年分を繰り返し解くことで力をつけました。また，出題傾向を分析し，類題や分野ごとなど効率的に学ぶよう心掛けました。二次試験では計算問題を重点的に勉強しましたが，試験当日は論説問題に助けられたため，日々の業務から得られる専門知識を深く理解することも重要だと思います。

Q3 A. 資格取得で得た知識がすぐに業務に役立つことは少ないと思いますが，送電以外の部門の基礎知識を学べたので，他部門と連携が必要な業務などで活かせると思います。また，諦めずやり抜いた今回の経験を今後の仕事でも活かしていきたいです。

Q4 A. どんな資格でも勉強時間をつくらなければならず，仕事やプライベートもあるため，限られた時間をどう使うか計画を立てることが重要だと思います。取得したい資格がある方は，勉強を日々の習慣にし，自分で決めた目標に粘り強く挑戦してほしいと思います。

今回取得した資格　大学院修士課程社会人コース修了 グロービス経営大学院 経営学修士（MBA）取得



グループ戦略部門
財務戦略・経営管理ユニット
籾山　優主査

Q1 A. 4年ほど前に企画部に異動になりましたが，当時は財務諸表さえ理解することができず，すごく悔しい思いをしました。すぐに会計関係のセミナーへの参加や簿記検定を受けるなどしましたが，せっかく企画部に配属していただいたからには，「経営の全体像を学びたい」と思い，ビジネススクールでMBAに挑戦することにしました。

Q2 A. クラスでは「どれだけ自分の考えをアウトプットできるか」が求められます。そのため，事前学習に特に力を入れました。帰宅後の深夜の勉強が本当に苦手だった（すぐに眠くなる）ので，早朝3時ごろに起きて，リフレッシュした頭で勉強するようにしていました。また，クラス以外にも，スクールの仲間と一緒に，さまざまなイベントの企画に挑戦しました。他校（東京校や大阪校など）のメンバーとのイベント企画を通じ，リーダーシップやコミュニケーション能力がかなり鍛えられました。授業とイベント企画の両立はかなりハードでしたが，ハードワークを分かち合った全国の仲間と強いネットワークを築くことができました。

Q3 A. スクールでは特に「既存事業の変革」と「新規事業の創出」に力を入れて学びました。「既存事業の変革」については，現在の財務戦略や経営管理の業務で非常に役立っています。「新規事業の創出」については，会社や地域社会の役に立つようなビジネスプランの提案や事業化のために学んだスキルを役立てていければと考えています。

Q4 A. 仕事でも趣味でも「自分が成長している」と感じられる時って，すごく嬉しいし楽しいと思いませんか。私はその成長を一番感じることができるのは，「自分ができないことへ挑戦した時」だと思っています。MBAへの挑戦は，（特にエンジニアの皆さまには）ハードルが高いと思いますが，「大きな成長の実感」をお約束するので，ぜひ挑戦してみてください。

おめでとうございます

2019年度実績

- S級資格取得者数：2人
- 大学・大学院学位取得者数：5人

※実務経験により取得した方を除く

総取得者数（2020年8月現在）

資格名	人数
（S級）原子炉主任技術者	36
（S級）電気主任技術者　一種	199
通信制大学・大学院　学士号・修士号取得	64
大学・大学院　社会人コース修了	44

PICK UP　CCMランクS級取得者の声



ネットワークサービス部
（電力受給）
石井 雄大さん

Q 資格取得に挑戦したきっかけはなんですか？

学生時代から再エネに関心があり，再エネ導入が進む欧米の情報を生で入手するため，英語を勉強したいと考えました。2018年にそれまで勉強していた中小企業診断士の資格を取得し，時間に余裕ができたことから英語学習を始めました。

Q 取得に向けてどのような取り組み・対策をしましたか？

毎朝30分オンライン英会話のレッスンを受講しました。英文のニュースを読み，その内容について外国人講師の方と英語で議論するもので，1年続けて英語力が大きく向上したと実感しています。オンライン英会話にはさまざまな国の先生がいて，各国の話を聞くだけでも面白いので，英語学習に関心のある方には大変おすすめです。私の場合，楽しく学習を継続できたことが940点という好結果につながったと思います。

Q 取得した資格が業務や日常生活に役立つ点を教えてください

これまでの業務で英語を使用する機会はありませんでしたが，現在，需給調整市場の開設や洋上風力の系統アクセスに携わっているため，語学力を活かして先行する欧米の事例を調査するなど，何か業務に役立てることができたらと考えています。

Q 資格取得を考えている社員の皆さんへメッセージをお願いします

私は英語学習を始めたことをきっかけに，社内外でさまざまな方と交流を持つことができました。自分の世界を広げるチャンスになると思うので，英語に限らず興味を持った資格があれば思い切ってチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

その他，公的資格登録・CCMランク登録に関するお問い合わせは，右記担当者または人財部・教育関係ポータルサイトへアクセスください！

担当
東北電力 人財部（人事計画）
佐々木 愛美 Tel. 910-2638

能代火力発電所3号機 新設工事竣工に伴う自治体などへの御礼訪問

8月7日・18日

能代火力発電所3号機新設工事の竣工に際しての祝賀会が，新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となったため，招待予定であった秋田県知事や能代市長，地元関係者を樋口社長が訪問し，新設工事に対するご協力について感謝の意をお伝えした



佐竹秋田県知事を訪問



齊藤能代市長を訪問

東北電力ネットワーク「本社幹部・支社長合同会議」および「危機管理講演会」の開催について

7月31日

東北電力ネットワークは，本社にて「本社幹部・支社長合同会議」を開催し，リスク管理や託送料金制度の見直し，効率化・収益拡大施策などをテーマに経営層と本社幹部・支社長らが活発な意見交換を行った。同会議は，新型コロナウイルス感染症の影響から，これまで4回にわたりテレビ会議を活用し実施してきたが，5回目となる今回は，分社後，初めてメンバーが一堂に会しての会議となった。
また，同会議の前には，「危機管理講演会」を開催し，東北電力の竹内顧問から危機発生時のマネジメントの在り方について講演をいただいた



本社幹部・支社長合同会議で経営の方向性について説明する坂本社長



本社幹部・支社長合同会議の様子



危機発生時のマネジメントについて講演する東北電力の竹内顧問

退職者の方々

長い間ありがとうございました



グループ戦略部門付
東北電機製造出向
青田 直広



いわき営業所
星 薫



青森支社付
東北送配電サービス出向
中谷 稔



新潟支社付
東北インテリジェント通信出向
雲野 勝也

2020年7月の退職者（敬称略）
※所属は退職時のもの

社内テレビ放送



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，撮影取材を控えていることなどから一時放送休止となります。放送再開については，決まり次第，別途お知らせいたします。

NEWSスクエアは過去9回分の放送を
「ソーシャルコミュニケーション部門ポータルサイト」からご覧になれます。
もう一度見たい回・見逃してしまった回がありましたら，
ぜひご覧ください。

ソーシャルコミュニケーション部門 コミュニケーション企画ユニット
高橋　Tel.910-3027,w130065

編集後記

気が付くといつの間にか「ひやおろし」が美味しい季節となりましたね（私は幸せな舌をしているらしく，繊細な違いは分かりませんが）。昨年，アメトークのキャンプ楽しい芸人を見て，「2020年は道具を揃えて充実した夏を!!」と思っていたのですが，夏らしいことをほとんどできないまま，引きこもっているうちに季節が過ぎ去っていきました。

さて，今年は10月の臨時異動となり，例年とは異なる慌ただしい秋をお過ごしの方も多いかと思います。私は「今回は異動しないだろう」と勝手に思っていましたが，いざ発表が近づくとドキドキしてしまいました。このドキドキはどこかのタイミングで慣れるのか，それとも，残り30年続くのでしょうか。

ソーシャルコミュニケーション部門 コミュニケーション企画ユニット 高橋
Tel.910-3027,w130065



表紙の写真から

今月の表紙は現在建設中の上越火力発電所です（8月27日撮影）。

小さく写っている車両と比べることで，工事規模の大きさ，煙突の高さ（地上136m）が伝わってきます。